

輸送動向について（平成27年度第1－四半期）

平成27年7月

1. 輸送概況

4月上旬による海峡線旅客列車不具合や5月中旬の台風6号接近、宮城県沖地震等の自然災害により、高速貨97本が運休した（前年同期間は、高速貨170本、専貨1本が運休）。

コンテナ貨物は、鉄道へのシフトが続いている積合せ貨物が大幅な増となったほか、九州地区の低調な馬鈴薯・玉葱の発送を補った北海道地区の好調な玉葱・大根等の農産品・青果物、気温上昇に伴い全国的に清涼飲料水、酒・ビールの出荷が好調な食料工業品のほか、化学工業品やエコ関連物資が前年を上回った。

一方、白物家電の売れ行き不振が続く家電・情報機器、紙・パルプ、自動車部品、化学薬品が前年を下回り、コンテナ貨物全体では前年比102.0%となった。

車扱貨物は、石油が好調な発送となったものの、セメント・石灰石が納入先工場の整備・点検による受け入れ制限等の影響で減送となり、車扱貨物全体では前年比99.4%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比101.3%となった。

2. 輸送実績

（単位：千トン、％）

種別 扱別	1－四半期計		
	本年実績	前年実績	前年比
コンテナ	5,291	5,189	102.0%
車扱	1,782	1,793	99.4%
合計	7,073	6,983	101.3%

3. 品目別輸送実績表

（単位：千トン、％）

扱別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	380	368	12	103.3%
	化学工業品	517	493	24	104.9%
	化学薬品	349	359	-9	97.4%
	食料工業品	918	845	73	108.7%
	紙・パルプ	788	817	-29	96.4%
	他工業品	371	379	-8	98.0%
	積合せ貨物	656	578	78	113.4%
	自動車部品	168	186	-18	90.2%
	家電・情報機器	109	120	-11	91.1%
	エコ関連物資	108	95	13	113.8%
	その他	926	950	-24	97.5%
コンテナ計	5,291	5,189	102	102.0%	
車扱	石油	1,201	1,167	34	102.9%
	セメント・石灰石	245	281	-37	87.0%
	車両	182	180	2	101.3%
	その他	154	165	-11	93.3%
	車扱計	1,782	1,793	-11	99.4%
合計	7,073	6,983	90	101.3%	

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値）